



つなぎ地区で



フロスポーツ選手との交流

～グルージャ盛岡～

つなぎ地区振興福祉推進協議会（高橋金兵衛会長）が地域づくり事業として初めて開催した「グルージャ盛岡との交流会」が8月11日（月）、つなぎ多目的運動広場で開かれました。地域協働のまちづくりワークショップで出された意見をきっかけに生まれた交流事業で、グルージャ盛岡は総勢27人のフルメンバーで参戦しました。

つなぎ地区の小中学生など約40人の参加者は、選手たちから基礎を教わったり、4つのチームに分かれてミニゲームを楽しんだりしてサッカーを満喫。選手と参加者は雨にも負けず、たくさんの笑顔を送らせていました。

グルージャ盛岡の鳴尾直軌監督は「クラブハウスを構えているつなぎ地区は、まさ



【大人に負けじと元気にボールを追いかけています！】

に我々のホームです。地域の皆さんから愛されるチームを目指している私たちにとって、つなぎの皆さんとサッカーを通じて交流できるのは、とても意義深いこと。地域の皆さんが企画・運営する場に招かれたのは、今回のつなぎ地区が初めてなので喜びもひとしおです」と感慨深げな様子。

つなぎ地区まちづくり委員会の高橋貴美子さんは「子どもも大人も一緒に笑顔になれるスポーツの力は素晴らしい。グルージャ盛岡がつなぎの自慢であるように、つなぎが子どもたちの誇りになるようにがんばっていきたい」と地域づくりがもたらす可能性に期待を膨らませています。



【ゴールのチャンス！！】



乙部地区民体育祭・乙部中学校郷土芸能発表会が開催！

8月24日(日)に、第22回乙部地区民体育祭・第35回乙部中学校郷土芸能発表会が開催されました。会場となった乙部中学校グラウンドには、小学生から大人まで、地区の住民約1,000人が集まり、28町内会を7つに編成して16競技が繰り広げられました。

午後には乙部中学校の生徒による郷土芸能発表会が開催され、8グループ・約250人が、さんさ踊りや念仏剣舞など迫力のある踊りを披露しました。

乙部地区では、子どもから大人まで参加でき、世代を超えて交流が生まれることを心がけて事業を企画しているとのことで、この日も、行事の運営や競技への参加を通

じて、住民同士が協力しあう様子が見られました。

また郷土芸能に取り組むことにより、地域の大人と子どもたちが日頃から世代を超えたつながりを持っており、郷土の歴史が脈々と次の世代に引き継がれていることも感じられました。



【手代森念仏剣舞を披露】

盛岡市市民協働推進事業 二次募集採択

8月18日(月)、盛岡市役所で市民協働推進事業二次募集の選考委員会が行われ、まちづくり施設整備事業の3団体、公募型協働推進事業の2団体の選考を行いました。

採択された事業は次のとおりです。各団体は、来年3月31日(火)まで市や関係団体などと連携しながら事業を進めることとなります。

【採択団体・補助額】

■まちづくり施設整備事業

「め組山車保存会」(380万円)

盛岡市消防団第2分団の旧番屋を改修し、山車の展示保存などを行う。

■公募型協働推進事業

「盛岡大通商店街協同組合」(25万3440円)

もりおか映画祭の開催に合わせて、「映画をキーワードとした市民協働による地域活性化」をテーマに、ゲストを招いた市民交流イベント等を実施。

「岩手SDM研究会」(24万6560円)

地域の担い手に新たな課題解決能力を習得させるため、具体的な実践事例を通じて、主体的・自立的に活動できる人材を育成する。

元気なコミュニティ特選団体 認定証交付式

県は町内会・自治会やNPO等の活動促進と地域コミュニティ活性化を目的に、地域力の強化に取り組む県内のモデルとなるコミュニティ組織を「元気なコミュニティ特選団体」として認定しています。

これまでに市内では12団体が認定され、広く県内に活動が紹介されてきました。

8月30日(土)、マリオスで認定証交付式が行われ、市内からは北山自治会が新たに認定されました。

鏡保夫会長は「認定されたことを地域の人に広く認識してもらい、さらなる北山自治会の活性化と次世代を担う方々の環境も整えていきたい。」と決意を新たにしました。



【認定式の様子】

左：北山自治会 鏡保夫会長
右：岩手県 千葉茂樹副知事